

第1回証券アナリスト基礎講座修了試験の結果について

1. 日本証券アナリスト協会では、昨年12月初旬に実施した初めての証券アナリスト基礎講座（昨年7月開講）修了試験の合格者を下記の通り決定しました。なお試験結果については、平均点、得点分布とも当初の目標通りでした。

記

受験者数	230名
合格者数	155名
合格率	67.4%
受験者の平均点	80点(得点率66.7%)
合格最低点	69点(得点率57.5%)

なお、全問正解者は3人でした。

2. 合格者の内訳を見ると、事業会社に勤める方々は32%（50名）を占め、女性も4分の1以上の40名でした。また学生は17%（27名）であり、証券アナリスト基礎講座の受講者層の広がりがみられました。

3. 基礎教育委員会からのメッセージ

- ①試験結果については、上記のように平均点、得点分布とも当初の目標通りで、満足できるものでした。
- ②合格者の内訳は、学生が2割弱、事業会社に勤める方々は3分の1であり、また女性も4分の1以上を超え、証券アナリスト基礎講座の受講者層の広がりがみられました。
- ③事業会社に勤める受験者の合格率が特に高く、時間的制約もある中で熱心に勉強されたことをうれしく思います。
- ④学生は初めて証券分析を学んだ方が大半でしょうが、合格者も多く、一生懸命学習したことがうかがわれます。
- ⑤3名の方が満点合格ということで、受講者の真面目な学習の取り組みが感じられました。
- ⑥合格者の方々は、「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」の基礎知識を理解したのですから、当協会の検定会員（CMA[®]）を目指して、証券アナリスト通信教育講座1次レベルに進んで、このままファイナンスの勉強を続けて下さい。

4. 全問正解者の氏名とコメント(五十音順)

・入江一彦氏

私の場合、企業年金基金の運用執行理事という立場にあり、特に基礎講座のために猛勉強したというようなことはないのですが、この講座は、企業年金やDCなど委託運用をする者にとっては最良の講座ではないかと実感しました。

・金谷伸雄氏

出来るだけ数式を省くよう工夫されたテキストでしたので、私のような文系出身者でも、繰り返しテキストを読むことで段々と理解が深まったように感じています。今後も金融に関する知識・理解を深めていきたいと考えております。

・田中賢道氏

私は証券について学習した経験が少なく、証券市場の仕組みなど、基礎の知識がほとんどありませんでした。基礎講座はそのような基礎の部分が理解しやすい言葉で解説してあるため非常に学習しやすく、特に Q&A は他の受講者の質問とその回答が載っているためポイントを押さえた学習に非常に役立ちました。

5. 基礎講座修了試験の合格者は、所期の目標とする第1次レベル証券アナリスト通信教育講座「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」の3割程度は十分理解したものと認められます。合格者には、当協会より修了証を授与するほか、第1次レベル証券アナリスト通信教育講座に進む場合、「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」について割引制度を用意しています。

基礎講座の受講者は、2004年4月の受講申込受付開始以来、順調に伸びており、1月7日現在の受講者(今回の合格者を含む)は1,342名に達しています。その内訳は事業会社に勤める方が420名(31.3%)、女性371名(27.6%)、学生は214名(15.9%)となっています。

(ご参考)証券アナリスト基礎講座の概要

証券アナリスト基礎講座は、将来、証券アナリストを目指したい、ファイナンスの基礎を学びたいという方のために2004年7月に開講した新しい通信教育講座です。

受講申込みは随時受け付けており、インターネット上で、受講申込み、Web問題の解答、質問等ができます。また修了試験は年2回6月と12月に実施し、全国主要都市で原則としてコンピュータ試験となります。

合格者には修了証が授与されるほか、第1次レベル証券アナリスト通信教育講座に進む場合、「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」については、受講料が割引されます。

以上